

2015年(平成27年)7月17日(金曜日)

# 税務職員招き 使い道を学ぶ

室蘭・海星高の生徒

にした租税教室が13日、同校で開かれた。写真。室蘭税務署の石田信一税務広報広聴官が講師を務め、生徒たちは税金が安全で快適に暮らすために役立てられていることを学んだ。

初めに「税のない世界」をシミュレーションしたアニメを視聴。税金がないと、

室蘭・海星学院高校(香教育費や警察、消防が有料川謙二校長、236人)の化となり、ごみ収集や道路1、2年生166人を対象整備が行えないなど、安全



で暮らしやすい環境が失われてしまうことが説明された。

石田さんは消費税の特徴として「広く負担を求めることができ、景気に左右されず安定した税収を確保できる」のは長所だが、「家族が多い、所得が少ないなど個々の事情に配慮できない面がある」という短所も指摘した。

「小学校から高校までの期間、公立学校で勉強するために使われる税金は1人当たり約116万円です」などと紹介する内容に生徒たちは熱心に耳を傾け、税金が身近な所で使われていることを実感していた。生徒は夏休みに国税庁が募集する「税に関する高校生の作文」に取り組む。

(成田真梨子)